

【スプリンクラー設備】

1 スプリンクラー設備について

火災の熱により、自動的に作動する消火設備です。

散水の際には警報音が鳴ります。

消火後には、水損を防止するために、散水を止める必要があります。

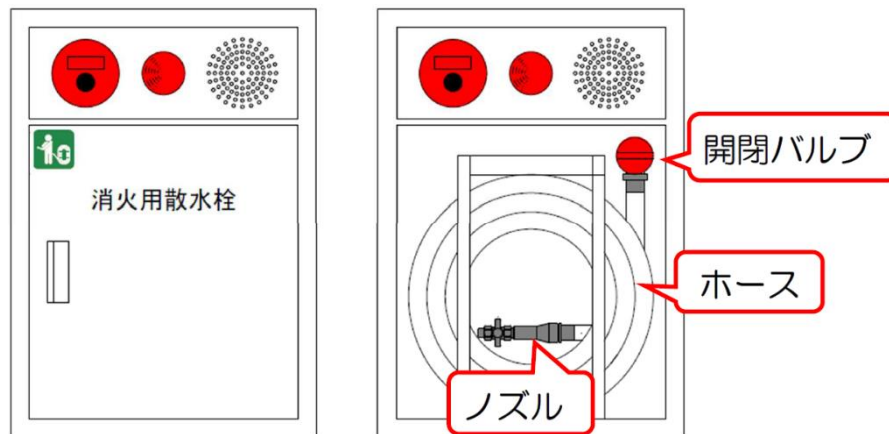
熱を感知したヘッドのみが作動します。



2 使用方法

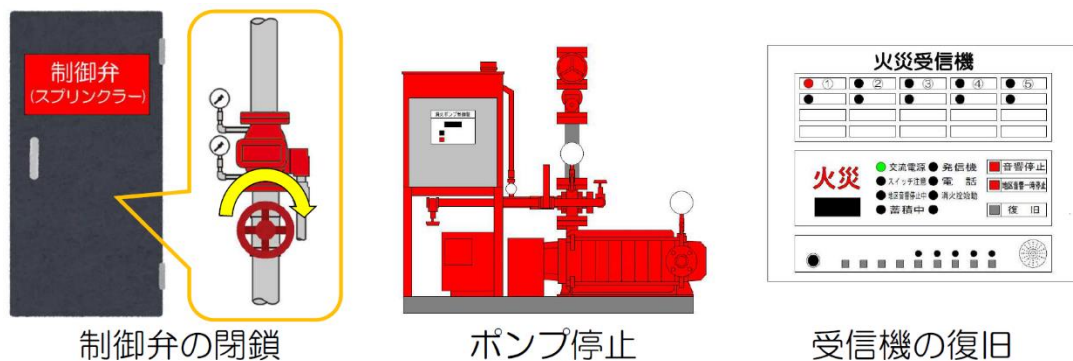
スプリンクラーヘッドの設置されていない場所から出火した場合は、補助散水栓を使用して消火します。

- ①開閉バルブを開ける。
- ②ノズルを持ちホースを延ばす。
- ③ノズルのバルブを開け、火元に向けて放水する。



3 消火の確認後

- ①散水場所の制御弁室（警報音が鳴っている場所）に向かう。
- ②「常時開」の札のかかった制御弁を閉鎖する。
- ③ポンプ室に向かい、ポンプ制御盤にて停止ボタンを押す。
- ④自動火災報知設備を復旧する。



※制御弁を閉めずにポンプを停止しても、水が流れているため、その水の流れて感知して、再度ポンプが起動します。制御弁を閉めて水の流れて止めてからポンプを停止させてください。